

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年11月 6日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 6 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	プロセス放射線モニター系換気系排気筒入口放射線モニター試料採取ポンプNo. 1において、インバーター周波数にハンチング(40.0~43.5Hz)が認められたため、当該ポンプを点検・修理。 なお、主排気筒放射線モニターにて監視可能であるため、管理上の影響はない。	GⅢ	10月31日
2	2号機	復水脱塩塔再生用薬液設備(屋外)解体作業において、作業計画書に記載不備(重機1台が未記載)が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、当該重機1台については、新たに作業計画書を作成。	GⅢ	10月29日
3	2号機	計装用圧縮空気系除湿装置(A)除湿塔(A-2)排気弁において、動作不良(除湿塔の昇圧工程にて「全閉」であるところ「全開」であった)が認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、除湿装置(B)にて運転可能であるため、系統機能に影響はない。	GⅢ	11月3日
4	2号機	換気空調系タービン建屋給気処理装置入口外気温度指示検出スイッチにおいて、指示値のダウンスケール(指示値の目盛板下限値未満)が認められたため、当該温度指示検出スイッチを点検・修理。	GⅢ	11月3日
5	4号機	残留熱除去機器冷却海水系海水ポンプ(B)軸受潤滑水逆止弁継手部において、点検中に水の漏えい(非放射性、約1秒に1滴)が認められたため、当該継手部を点検・修理。 なお、当該配管継手部の上流側の弁を閉し、水の漏えいは停止。	GⅢ	11月1日
6	4号機	非常用ディーゼル発電設備(B)No. 9及びNo. 16シリンダー始動弁において、漏えい確認試験時に空気漏えい量の判定基準値(1分間で0.01MPa以下)超えが認められたため、当該始動弁を点検・修理。	GⅢ	11月1日